

国勢調査等で振り返る練馬区



練馬区は昭和22年(1947年)8月1日に23番目の特別区として成立しました。本編では、平成29年(2017年)に70周年の節目を迎える練馬区のこれまでと現状を、国勢調査等の結果を通して見ていきます。(特に断り書きのない場合、本編の内容は国勢調査の集計結果に基づくものです)

1 人口

(1) 人口の推移 … 図表1

練馬区の独立直後に行われた「昭和22年臨時国勢調査」(昭和22年10月1日時点)では、練馬区の人口は111,792人(23区中21位)でした。

その後、高度経済成長期と重なる昭和30年からの15年間で、約34万人(1年あたり平均約2.3万人の増)の大幅な人口増を示し、昭和45年には527,931人(同5位)となりました。

これ以降も、特別区全体の人口が減少する中、練馬区の人口は増加傾向を維持しました。平成2年には60万人を突破して618,663人(同4位)となり、平成12年には世田谷区に次ぐ特別区で2番目の人口(658,132人)を有するに至りました。

平成27年には721,722人となり、全国の区市町村中19番目に人口の多い自治体となりました。

(2) 増加率 … 図表2

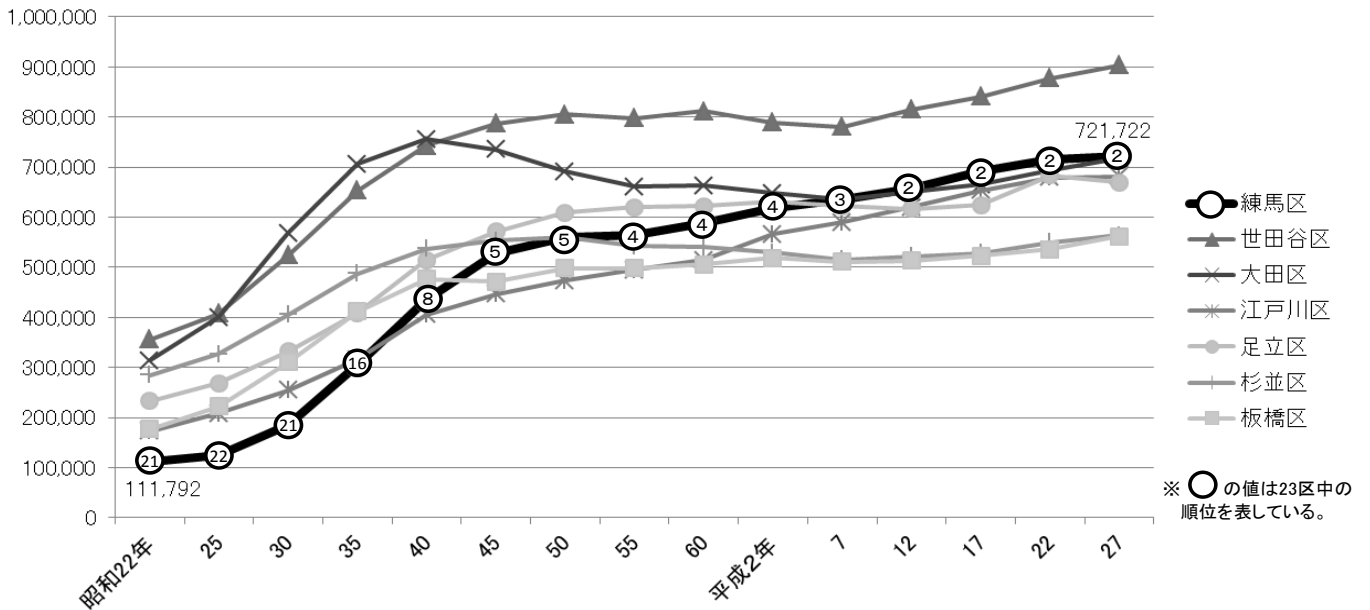
23区が成立して以来(昭和22年から平成27年まで)の人口の増加率(上位5区)を図表2にまとめました。練馬区の人口増加率645.6%は、23区で最も高いものでした。なお、昭和22年以降一貫して人口が増加し続けているのは、特別区では練馬区と江戸川区の2区のみです。

図表2 人口の増加率(昭和22年対平成27年、上位5区)

	昭和22年	平成27年	増加率
特別区	4,177,548	9,272,565	222.0%
練馬区	111,792	721,722	① 645.6%
江東区	96,870	498,109	② 514.2%
江戸川区	173,422	681,298	③ 392.9%
板橋区	177,282	561,916	④ 317.0%
足立区	233,217	670,122	⑤ 287.3%

注: (1) 昭和22年は「現在人口」、平成27年は「常住人口」である。
(2) ○の値は23区中の順位を表している。

図表1 国勢調査人口の推移(昭和22年～平成27年、人口50万人超の7区)



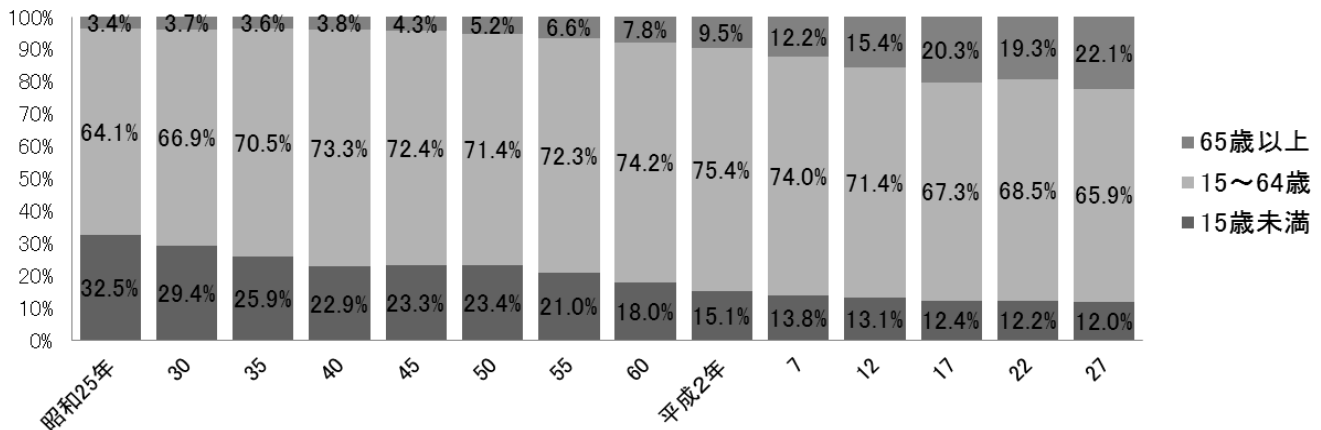
注: 昭和22年は「現在人口」、昭和25年以降は「常住人口」である。

(3) 年齢三分比率 … 図表3

年齢を「15歳未満(年少人口)」「15～64歳(生産年齢人口)」「65歳以上(高齢者人口)」の三分区とした場合の割合の推移は図表3のとおりです。

ほぼ一貫して、「年少人口」の割合が低下し、「高齢者人口」の割合が上昇しています。なお、他区との比較では、平成27年の「年少人口」12.0%は23区中5位、「生産年齢人口」65.9%は同18位、「高齢者人口」22.1%は同10位と、「年少人口」の割合がやや高く、「生産年齢人口」の割合がやや低い傾向が見られました。

図表3 年齢三分比率の推移

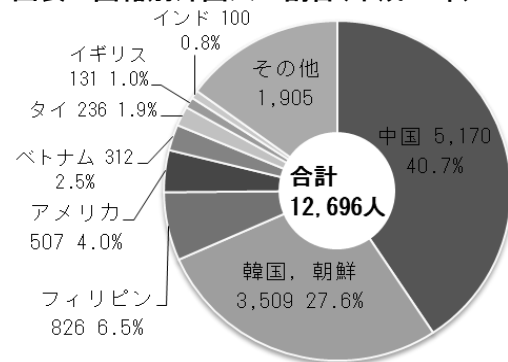


注：年齢不詳を除く割合である。

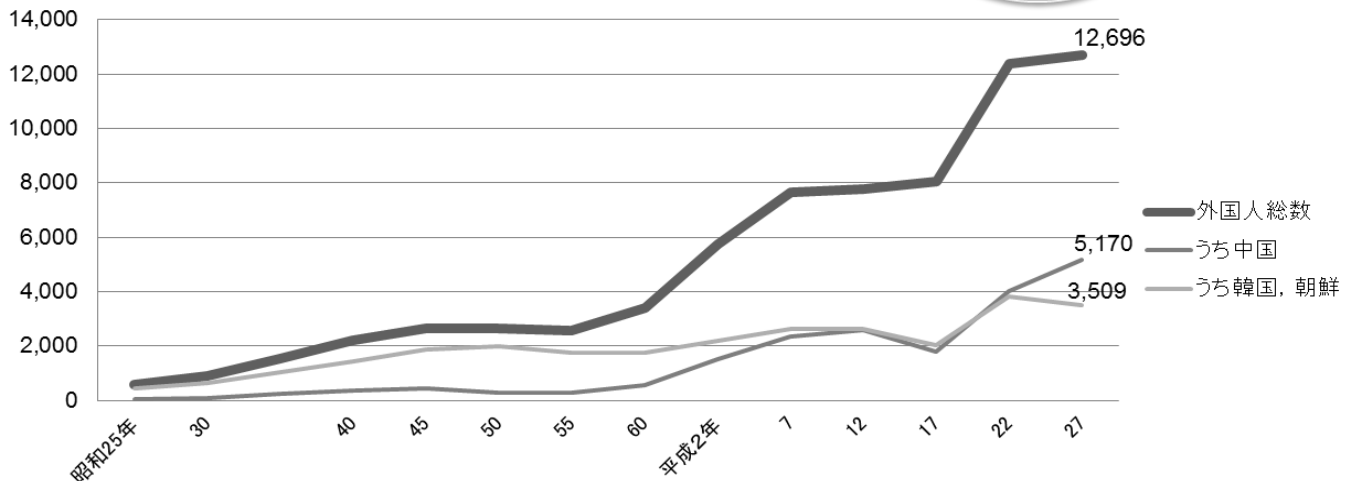
(4) 外国人 … 図表4, 5

練馬区内の外国人数は、図表5のとおり継続して増加傾向を維持しています。また、平成27年における外国人を国籍別に表した図表4によると、中国が5,170人（全体の40.7%）、韓国、朝鮮が3,509人（同27.6%）となっており、この両者で全体の約7割を占めています。

図表4 国籍別外国人の割合（平成27年）



図表5 外国人数の推移



注：昭和35年の値は不詳である。

(5) 推計（練馬区成立以前）… 図表6

国勢調査は大正9年の第一回調査以降、5年ごと（戦中を除く）に実施されています。国では、区市町村の廃置分合を踏まえて、過去の国勢調査における人口を組み替えて、現在の境域における人口を推計しており、その値をまとめたのが図表6です。

この推計によると、大正9年における人口は25,748人となっています。この頃の練馬区の区域には、上練馬村、下練馬村、石神井村、大泉村など、複数の村が存在していました。

その後、関東大震災（大正12年）などの影響により都心から周辺地域への人口流出が本格化し、昭和15年における推計人口は112,411人と、第一回調査からの20年で4倍以

上の増加となっています。とはいえ、大正末期～昭和初期における練馬区の区域の人口は、現在の23区の区域の中で最も少ないものでした。

図表6 練馬区の境域における推計人口（大正9年～昭和15年）

年	推計人口
大正9年	㊴ 25,748
大正14年	㊵ 39,226
昭和5年	㊶ 54,783
昭和10年	㊷ 72,737
昭和15年	㊸ 112,411

注：○の値は23区中の順位を表している。

(6) 推計(将来人口) … 図表7

将来の人口を予測する「人口推計」については、図表7にまとめたとおり様々な機関が国勢調査や住民基本台帳の情報を基にして、行っています。推計により予測される内容に幅がありますが、いずれの推計も平成37～42年ごろをピークに人口減少に転じるものと予測しています。

図表7 人口推計(平成32年～平成52年)

年	推計①	推計②	推計③	推計④
平成32年(2020年)	723,642	758,213	730,251	752,620
平成37年(2025年)	726,668	766,967	730,453	753,912
平成42年(2030年)	724,446	770,021	725,486	748,389
平成47年(2035年)	720,401	767,642	717,963	736,983
平成52年(2040年)	715,567	759,489	…	720,768
推計の基資料	住民基本台帳人口 (平成27年1月1日時点)	平成22年国勢調査		

推計①:『練馬区人口ビジョン』(練馬区)平成27年12月
 推計②:『人口再生産力に着目した市区町村別将来推計人口』(日本創生会議)平成26年5月
 推計③:『東京都世帯数の予測』(東京都)平成26年3月
 推計④:『日本の地域別将来推計人口』(国立社会保障・人口問題研究所)平成25年3月

2 世帯

国勢調査においては、世帯は「一般世帯」と「施設等の世帯」(学校の寮、病院、老人ホーム、自衛隊営舎の居住者など)に大別されます。(昭和55年までは「普通世帯」と「準世帯」)

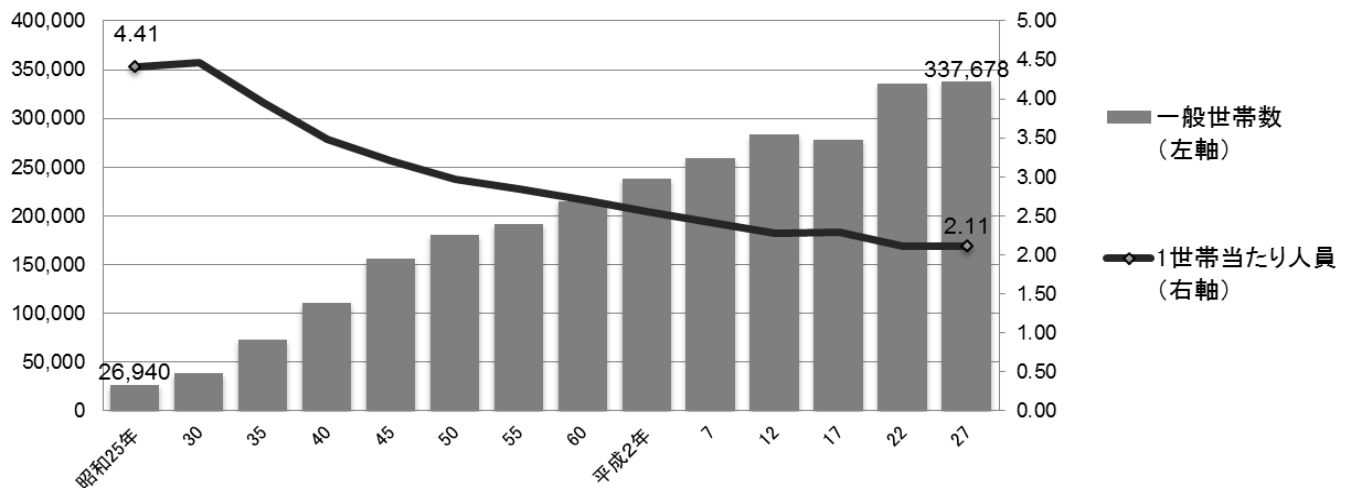
この項では「一般世帯(普通世帯)」について、その推移、内訳等を見ていきます。

(1) 世帯数、1世帯当たり人員 … 図表8

人口と同様、世帯数についても、図表8のとおり増加傾向が続いています。一方で、1世帯当たりの人員はほぼ継続して減少傾向にあり、昭和25年に4.41人であったのが、平成27年には2.11人となりました。

なお、1世帯当たり人員2.11人は23区中4番目に多い値(23区平均1.91人)でした。

図表8 一般世帯(普通世帯)の世帯数と1世帯当たり人員の推移(昭和25年～平成27年)



(2) 家族類型、世帯人員別世帯 … 図表9, 10

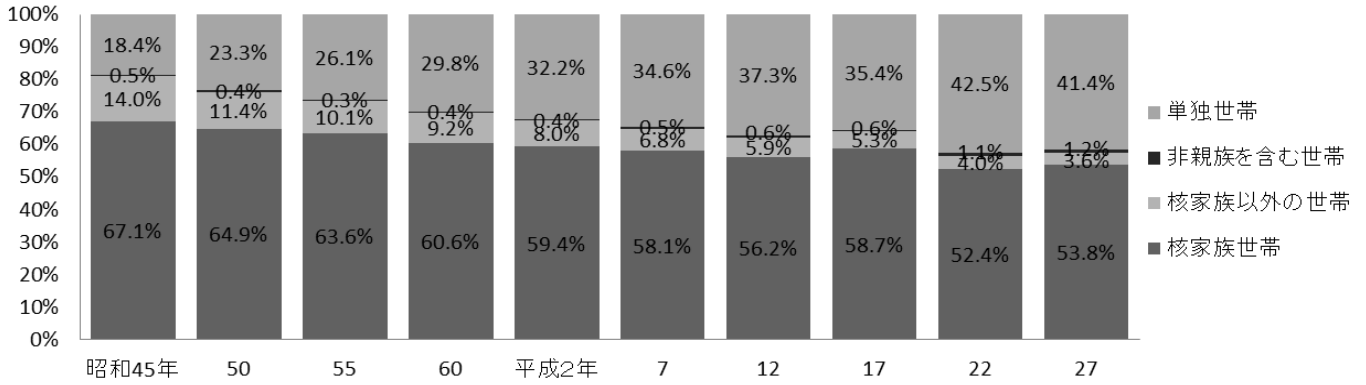
一般世帯(普通世帯)を家族類型(親族のみの世帯、非親族を含む世帯、単独世帯)に分類して、その割合の推移を比較可能な昭和45年以降の数値で表した図表9で見ると、親族のみの世帯(核家族世帯、核家族以外の世帯)の割合が低下し、単独世帯の割合が上昇していることが分かります。なお、「核家族」53.8%は23区中2番目に高く、「単独世帯」41.4%は同20位と、他区に比べると家族同居型の世帯が多いことが伺えます。

次に、世帯人員(世帯の人数)ごとの世帯数の割合の推

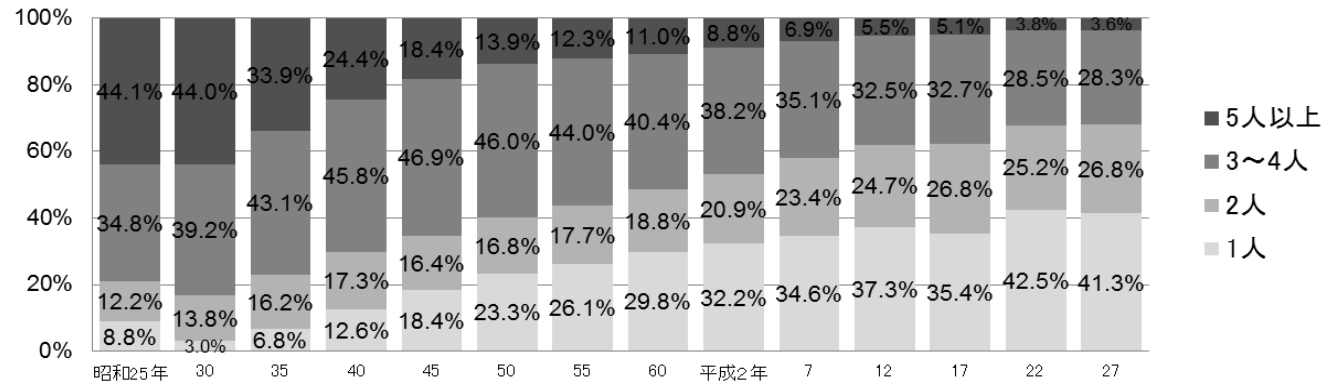
移をまとめたのが図表10です。ここからは、長期的に1人世帯の割合が上昇している一方、3人以上の世帯の割合は昭和30年以降一貫して低下していることが読み取れます。

以上の家族類型、世帯人員別世帯の推移から見えてくる、『「親族(家族)で同居している世帯」、「3人以上の世帯」の割合が低下し、1人暮らしの割合が増えている』という傾向は、先の1世帯当たり人員の減少傾向とも符合していると言えます。

図表9 一般世帯(普通世帯)に占める家族類型別割合の推移(昭和45年～平成27年)



図表10 世帯人員別世帯の割合の推移(昭和25年～平成27年)

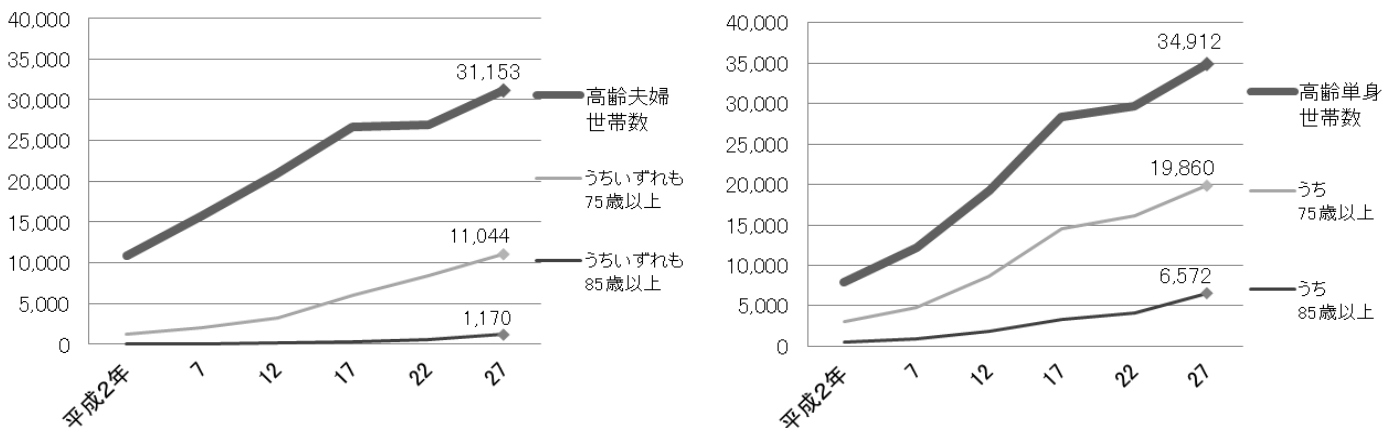


(3) 高齢世帯 … 図表11, 12

高齢化の進展に伴い、高齢夫婦世帯(国勢調査においては夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯と定義される)、高齢単身世帯(65歳以上の一人世帯)ともに、大幅に増加しています。比較可能な平成2年以降の世帯数の推移を示したのが図表11です。また、この間の高齢

世帯の増加率をまとめた図表12からは、高齢夫婦世帯が約2.9倍増であるのに対して高齢単身世帯は約4.4倍増、さらには年齢が上がるにつれ、増加率が大幅に上昇していることがわかります。

図表11 高齢夫婦世帯数、高齢単身世帯数の推移(平成2年～平成27年)



図表12 高齢夫婦世帯数、高齢単身世帯数の増加率(平成2年対平成27年)

	平成2年	平成27年	増加率
高齢夫婦世帯数	10,913	31,153	285.5%
うちいずれも75歳以上	1,276	11,044	865.5%
うちいずれも85歳以上	41	1,170	2853.7%
高齢単身世帯数	7,925	34,912	440.5%
うち75歳以上	3,119	19,860	636.7%
うち85歳以上	457	6,572	1438.1%

(3) 母子世帯、父子世帯 … 図表13

国勢調査では、未婚、死別または離別の女親、男親と、その未婚の20歳未満の子どものみからなる一般世帯を「母子世帯」、「父子世帯」と定義しています。比較可能な平成2年以降の世帯数の推移を表したのが図表13です。母子世帯がやや増加傾向にある一方、父子世帯はやや減少しています。

なお、平成27年調査の結果は29年に公表される予定です。

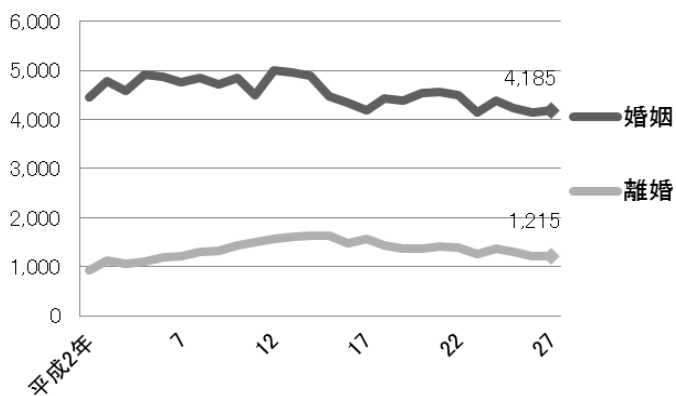
3 婚姻、出生など

(1) 婚姻・離婚 … 図表14, 15

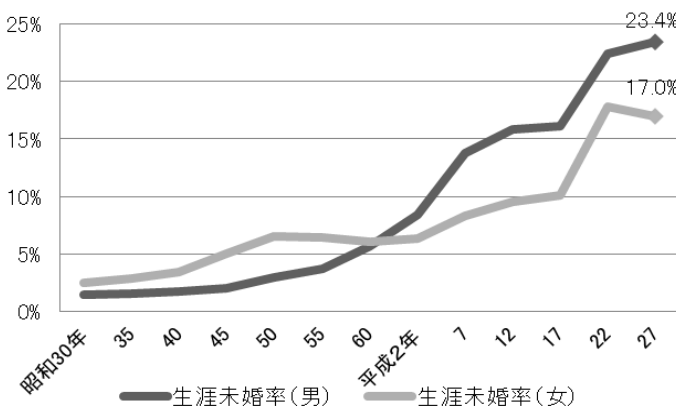
婚姻、離婚の件数については、「人口動態統計調査」による集計結果が公表されています。平成2年以降の推移を図表14で見ると、婚姻は4,000件台、離婚は1,000件台で、概ね横ばいとなっています。

国勢調査では、「配偶関係」(未婚、有配偶、死別、離別)に関する調査項目から、未婚者の状況を見ることができます。ここでは、「生涯未婚率」(45～49歳と50～54歳の未婚率の平均値から50歳時の未婚率を算出したもの)の推移を図表15に表しました。男女とも長期的な上昇傾向にあり、特に平成以降は男性の生涯未婚率が大幅に伸びています。なお、平成27年の率を他区と比較すると、男性(23.4%)は23区中16位、女性(17.0%)は同22位と、練馬区の生涯未婚率は特別区の中では男女とも低い、という結果でした。

図表14 婚姻・離婚件数の推移(平成2年～平成27年)

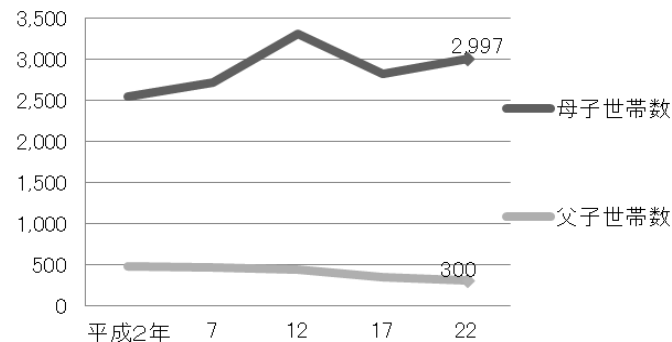


図表15 生涯未婚率の推移(昭和30年～平成27年)



注：配偶関係不詳を除く割合である。

図表13 母子世帯数、父子世帯数の推移(平成2年～平成22年)

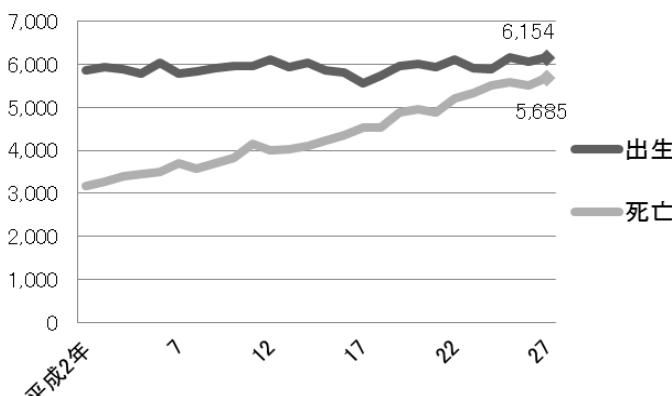


(2) 出生・死亡 … 図表16, 17

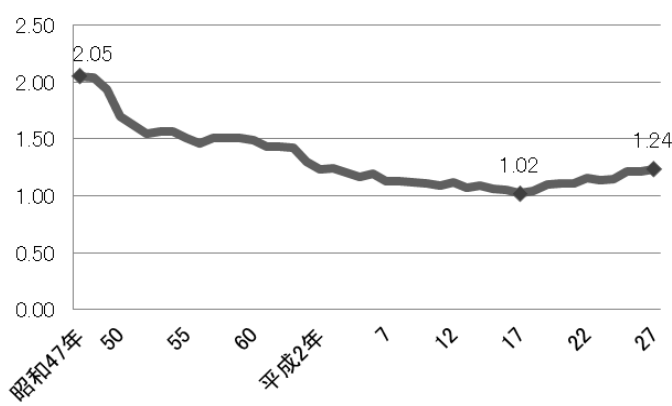
出生、死亡の件数についても、「人口動態統計調査」による集計結果が公表されています。平成2年以降の推移を示す図表16によると、出生が6,000件前後で概ね横ばいであるのに対して、死亡は増加傾向にあり、平成2年の3,183件が平成27年には5,685件と、この間で約1.8倍の伸びを示しています。

同じく「人口動態統計調査」の出生件数を基に算出される「合計特殊出生率」(一人の女性が一生の間に産む子供の平均数)の推移は図表17のとおりです。比較可能な昭和47年以降、長期的な低下傾向にありましたが、平成17年に1.02となって以降は上昇傾向に転じ、平成27年は1.24となりました。なお、他区との比較では、練馬区は23区中10位で、23区平均(1.22)をやや上回っていました。

図表16 出生・死亡件数の推移(平成2年～平成27年)



図表17 合計特殊出生率の推移(昭和47年～平成27年)



注：過去の人口動態統計の集計結果の「母の年齢階級別出生児数」と年齢階級別の住民基本台帳人口を基に、練馬区総務部総務課統計係が算出したものである。

4 経済活動など

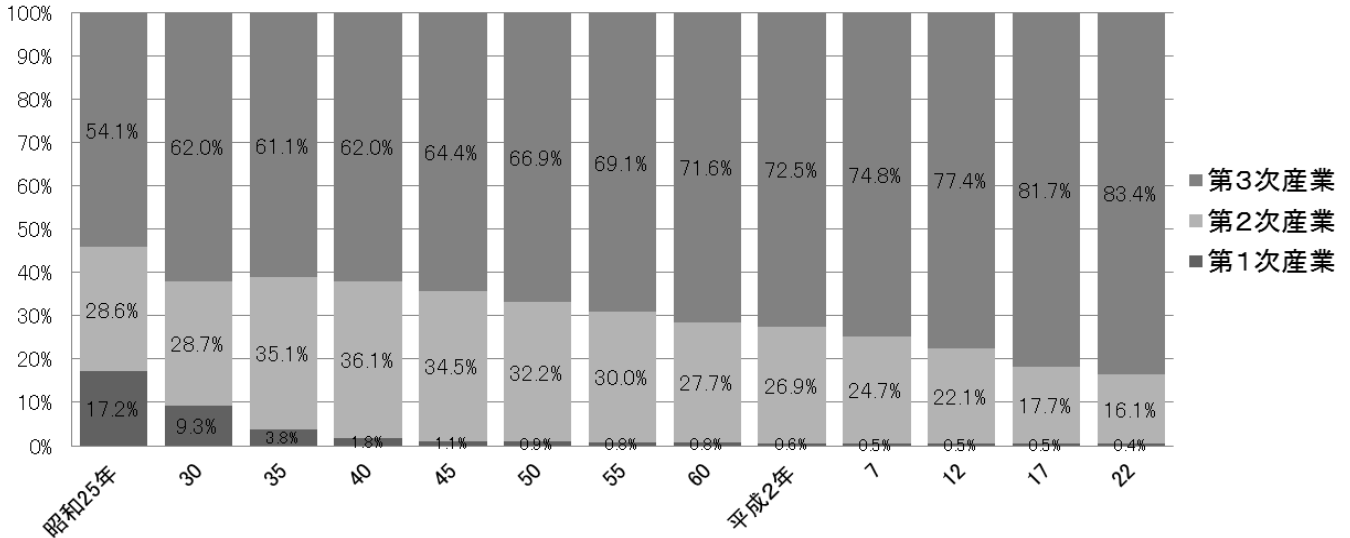
ここでは、練馬区民(常住者)の産業分類、労働力状態、通勤・通学、転出・転入の状況について取り上げます。なお、平成27年国勢調査におけるこれらの集計結果は平成29年に順次公表されるため、平成22年までの状況を見ていくこととします。

(1) 産業 … 図表18～20

産業分類別割合の推移を表したのが図表18です。第1次産業は昭和50年以降1%を下回る水準で推移し、第2次産業は昭和40年の36.1%をピークに減少を続けています。一方、第3次産業の割合は概ね増加傾向にあります。

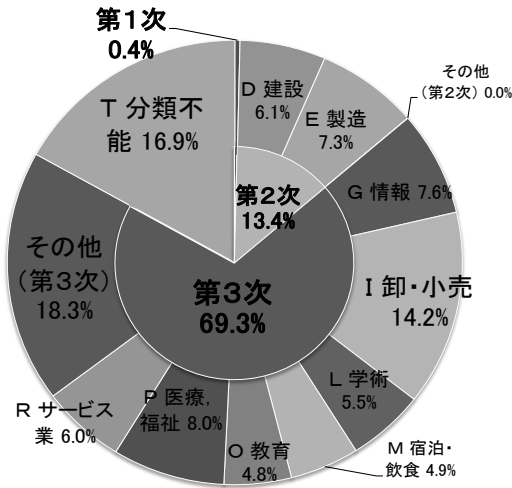
次に、平成22年における産業大分類の内訳を図表19で見ると、卸売業、小売業(14.2%)、医療、福祉(8.0%)などが高い割合を示しています。

図表18 産業分類別割合の推移(練馬区常住者、昭和25年～平成22年)



注:分類不能を除く割合である。

図表19 産業大分類別割合(練馬区常住者、平成22年)



(参考) 産業大分類 (平成22年)

部門	内訳
第1次産業	A 農業、林業 B 漁業
第2次産業	C 鉱業、採石業、砂利採取業 D 建設業 E 製造業
第3次産業	F 電気・ガス・熱供給・水道業 G 情報通信業 H 運輸業、郵便業 I 卸売業、小売業 J 金融業、保険業 K 不動産業、物品賃貸業 L 学術研究、専門・技術サービス業 M 宿泊業、飲食サービス業 N 生活関連サービス業、娯楽業 O 教育、学習支援業 P 医療、福祉 Q 複合サービス事業 R サービス業(他に分類されないもの) S 公務(他に分類されるものを除く)

平成22年の産業大分類による値について、他区と比較して特に多かった産業は図表20のとおりです。「農業」の割合(0.4%)が23区中1位であったほか、「建築業」(6.1%)が同4位、「教育、学習支援業」(4.8%)も同4位と上位に位置しました。

図表20 練馬区が23区中で上位の産業(練馬区常住者、平成22年)

	割合	人数
A 農業、林業 うち農業	① 0.4%	② 1,177
D 建設業	① 0.4%	② 1,159
O 教育、学習支援業	④ 6.1%	③ 19,604
S 公務	④ 4.8%	② 15,367
P 医療、福祉	⑤ 3.0%	① 9,561
	⑦ 8.0%	② 25,684

注: ○の値は23区中の順位を表している。

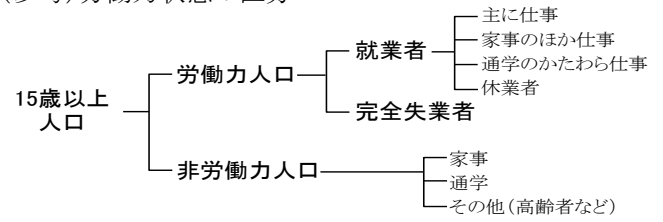
(2) 労働力 … 図表21

国勢調査では「労働力状態」についても調査を行っています。労働力状態の区分は以下の(参考)のとおりです。15歳以上人口に占める労働力人口の割合を示す「労働力率」の推移を図表21で見ると、男性は75～82%の範囲で概ね横ばいである一方、女性は当初30%台であった割合が徐々に伸び、平成22年において初めて5割を超えました。

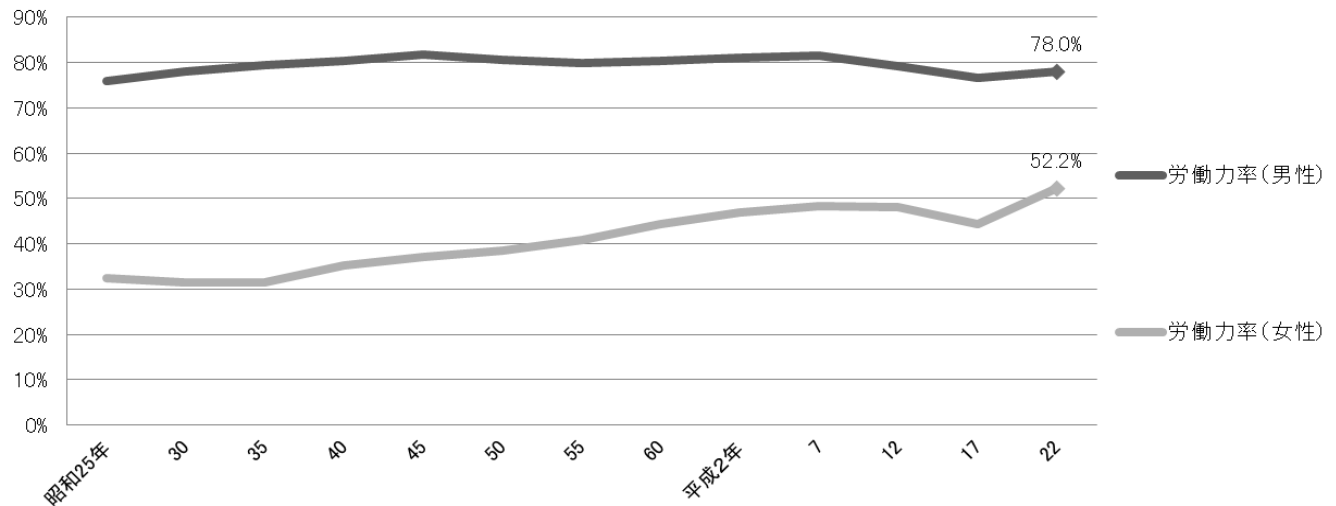
平成22年の労働力率を他区と比較すると、男性(78.0%)は23区中14位、女性(52.2%)は同21位と、特に女性は他区に比して労働力率が低い傾向が見られました。これは、家

事に専従している女性の割合(30.5%)が23区中最も高いことが要因の一つであると考えられます。

(参考)労働力状態の区分



図表21 労働力率の推移(昭和25年～平成22年)



注: 労働力状態不詳を除く割合である。

(3) 常住地、従業地 … 図表22～24

練馬区民※がどこに通勤、通学しているか、その割合を示しているのが図表22です。区外に通っている(流出人口)の割合が徐々に上昇しています。特に他区に通っている者の割合が高く、平成22年には全体の54.0%を占めました。

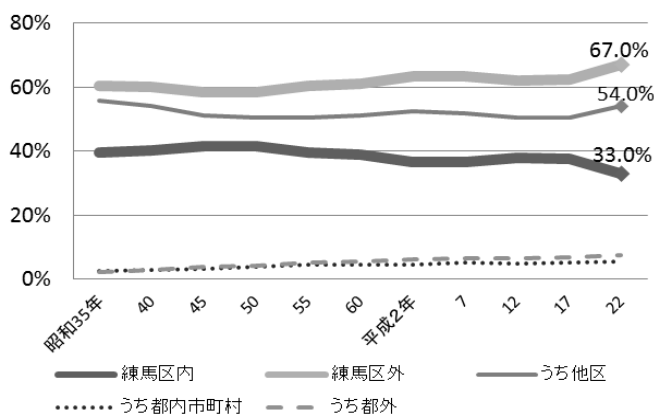
一方、練馬区に通勤、通学している人※がどこに居住しているか、その割合を示すのが図表23です。こちらは、区内居住者の割合が高く、平成22年においても全体の56.9%

を区内居住者が占めていますが、長期的には低下傾向にあります。その分、区外からの通勤・通学者(流入人口)の割合は上昇しており、平成22年は43.1%となりました。

通勤・通学による流出流入の状況※をまとめたイメージが図表24です。都外からはやや流入が多く都内市町村は流入流出が均衡している一方、他区との関係では大幅な流出超過であることが分かります。

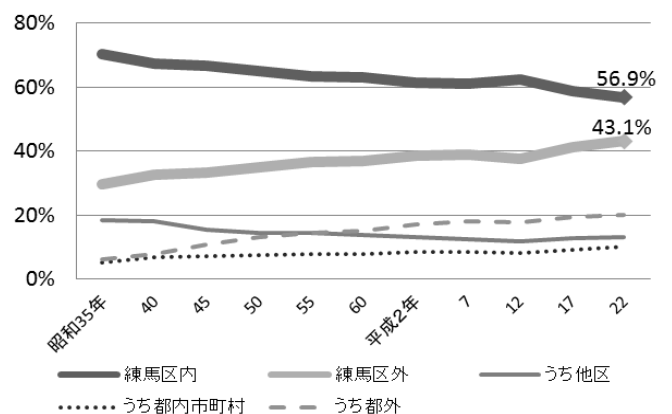
※15歳以上に限る。

図表22 練馬区常住者(15歳以上)の通勤・通学先の推移(昭和35年～平成22年)



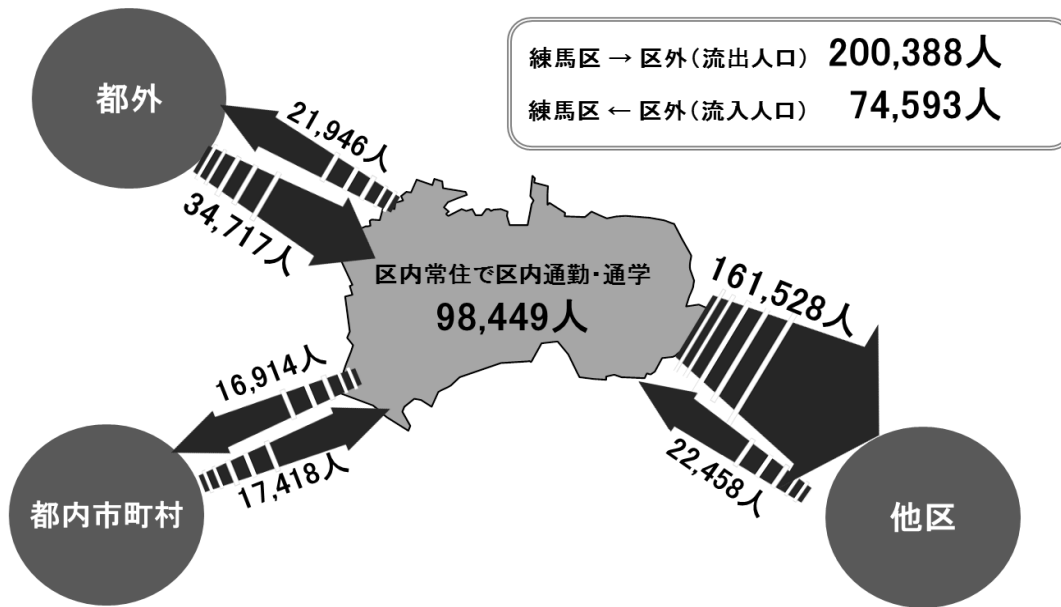
注: 通勤・通学先不詳を除く割合である。

図表23 練馬区に通勤・通学する者(15歳以上)の常住地の推移(昭和35年～平成22年)



注: 通勤・通学先不詳を除く割合である。

図表24 通勤・通学者(15歳以上)の移動状況(平成22年)



(4) 人口移動(転出入状況)… 図表25, 26

国勢調査では10年ごとに人口移動(5年前の常住地と現住地の対比※)について調査が行われてきました。比較可能な平成2年以降の転入状況※の推移を表しているのが図表25です。区内に継続して常住している者(転居なし、区内転居)の割合は上昇傾向にあり、逆に区外からの転入者の割合はやや低下傾向にあります。

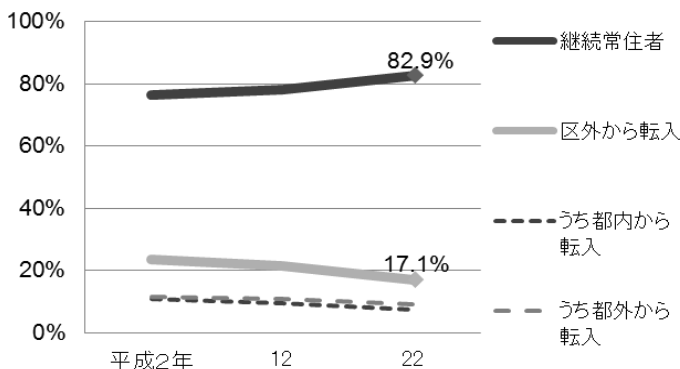
同様に転出状況※の推移を表しているのが図表26です。転

入状況と同じく、区内に継続して常住している者(転居なし、区内転居)の割合は上昇傾向にあり、区外への転出者の割合はやや低下傾向にあります。

なお、人口移動については、東日本大震災の影響を把握するため、平成27年国勢調査でも調査が実施されました。これらの集計結果は平成29年に公表される予定です。

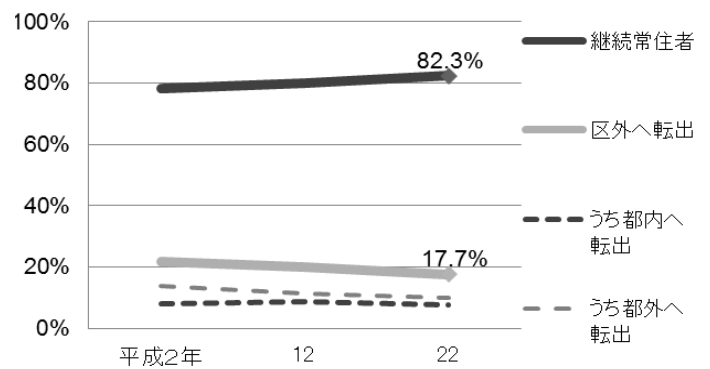
※5歳以上に限る。

図表25 練馬区常住者の転入状況(平成2年～平成22年)



注: (1) 移動状況不詳を除く割合である。
(2) 継続常住者には区内転居者を含む。

図表26 練馬区常住者の転出状況(平成2年～平成22年)



注: (1) 移動状況不詳を除く割合である。
(2) 継続常住者には区内転居者を含む。

5 国勢調査の現状と課題

国勢調査は大正9年(1920年)から行われており、次回平成32年(2020年)調査がちょうど調査開始から100年目となります。国勢調査では、人口や世帯数だけでなく、年齢、世帯区分、国籍、就業状態、職業、通勤・通学状況、転出入状況、住居などの項目について調査が行われます。

集計結果からは、過去からの推移やクロス集計(例: 産業分類別の通勤状況、家族類型別の転出入状況など)を見ることができるため、他では把握できない様々な情報を得ることができます。

一方で、近年は個人情報保護に対する意識の高まりやオートロックマンション、単身世帯の増加などにより、調査への協力が得にくくなっており、集計結果における不詳の割合が年々増加しています。

国勢調査から得られる情報をより有用なものとするため、練馬区を含む調査実施主体には、できるだけ多くの方に調査にご協力いただくための一層の努力が求められています。

⇒次ページからは資料編です。

図表27 練馬区勢（国勢調査等）【1/2】

	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年
年齢3区分別人口								
0～14歳	40,677	54,668	79,022	99,429	123,147	130,490	118,509	105,577
15～64歳	80,202	124,278	215,483	318,787	382,251	399,109	407,489	435,973
65歳～	4,314	6,863	11,123	16,505	22,533	29,147	37,276	45,925
外国人	583	898	…	2,196	2,654	2,644	2,567	3,385
1世帯当たり人員 (一般世帯、普通世帯)	4.41	4.46	3.96	3.48	3.21	2.97	2.85	2.70
家族類型別世帯数								
核家族世帯	…	…	…	…	104,498	117,251	122,016	130,569
核家族世帯以外	…	…	…	…	21,856	20,513	19,329	19,817
非親族を含む世帯	…	…	…	…	827	740	557	864
単身世帯	…	…	…	…	28,633	42,060	50,048	64,135
高齢夫婦世帯数	…	…	…	…	…	…	…	…
うち75歳以上のみ	…	…	…	…	…	…	…	…
うち85歳以上のみ	…	…	…	…	…	…	…	…
高齢単身世帯数	…	…	…	…	…	…	…	…
うち75歳以上	…	…	…	…	…	…	…	…
うち85歳以上	…	…	…	…	…	…	…	…
母子世帯数	…	…	…	…	…	…	…	…
父子世帯数	…	…	…	…	…	…	…	…
生涯未婚率								
男性	…	1.5%	1.5%	1.7%	2.0%	2.9%	3.7%	5.7%
女性	…	2.5%	2.8%	3.4%	5.0%	6.5%	6.4%	6.1%
合計特殊出生率	…	…	…	…	…	1.70	1.51	1.49
労働力率								
男性	75.9%	78.1%	79.5%	80.4%	81.9%	80.7%	80.0%	80.5%
女性	32.4%	31.6%	31.5%	35.2%	37.2%	38.6%	40.9%	44.4%
産業分類別従事者数								
第1次産業	7,769	6,558	4,731	3,521	2,545	2,365	2,157	2,257
第2次産業	12,899	20,220	43,968	69,661	82,105	80,289	78,519	79,387
第3次産業	24,407	43,686	76,554	119,570	153,150	167,046	180,768	205,392
練馬区常住者の通勤通学先								
練馬区内で通勤通学	…	…	60,209	94,625	118,685	127,347	127,460	135,475
練馬区外へ通勤通学	…	…	91,439	141,456	167,895	179,639	193,451	213,286
うち他区へ	…	…	84,525	127,533	146,833	155,374	162,447	177,866
うち都内市町村へ	…	…	3,642	7,065	9,604	11,373	14,166	15,730
うち都外へ	…	…	3,272	6,858	11,458	12,892	16,838	19,690
練馬区に通勤通学する者の常住地								
練馬区内で通勤通学	…	…	60,209	94,625	118,685	127,347	127,460	135,475
練馬区外から通勤通学	…	…	25,258	46,161	59,269	68,297	74,016	79,095
うち他区から	…	…	15,774	25,500	27,301	27,976	29,038	29,584
うち都内市町村から	…	…	4,321	9,498	12,918	14,849	15,744	17,115
うち都外から	…	…	5,163	11,163	19,050	25,472	29,234	32,396
練馬区常住者の転入状況								
継続常住者	…	…	…	…	…	…	…	…
うち現住所	…	…	…	…	…	…	…	…
うち区内転居	…	…	…	…	…	…	…	…
練馬区外から転入	…	…	…	…	…	…	…	…
うち他区から	…	…	…	…	…	…	…	…
うち都内市町村から	…	…	…	…	…	…	…	…
うち都外から	…	…	…	…	…	…	…	…
練馬区常住者の転出状況								
継続常住者	…	…	…	…	…	…	…	…
うち現住所	…	…	…	…	…	…	…	…
うち区内転居	…	…	…	…	…	…	…	…
練馬区外へ転出	…	…	…	…	…	…	…	…
うち他区へ	…	…	…	…	…	…	…	…
うち都内市町村へ	…	…	…	…	…	…	…	…
うち都外へ	…	…	…	…	…	…	…	…

資料：総務省統計局「国勢調査報告」(合計特殊出生率を除く)

図表27 練馬区勢（国勢調査等）【2/2】

	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年	定義、算出方法等
年齢3区分別人口							
0～14歳	92,988	87,038	85,765	80,006	87,257	86,105	
15～64歳	463,246	466,364	467,346	432,926	488,098	472,513	
65歳～	58,412	76,964	101,039	130,755	137,625	158,290	
外国人数	5,761	7,655	7,764	8,074	12,371	12,696	
1世帯当たり人員 (一般世帯、普通世帯)	2.55	2.41	2.28	2.29	2.11	2.11	・注(1)を参照
家族類型別世帯数							
核家族世帯	141,642	150,750	159,481	163,429	176,059	181,366	・家族類型は、平成27年国勢調査における区分により表記している。
核家族世帯以外	18,975	17,735	16,610	14,833	13,466	12,264	
非親族を含む世帯	982	1,282	1,819	1,625	3,616	3,973	
単身世帯	76,800	89,759	105,843	98,493	142,811	139,563	
高齢夫婦世帯数	10,913	15,719	20,985	26,630	26,925	31,153	・「高齢夫婦世帯」とは、夫65歳以上、妻60歳以上の夫婦1組のみの一般世帯をいう。
うち75歳以上のみ	1,276	1,995	3,248	6,055	8,392	11,044	
うち85歳以上のみ	41	98	160	319	587	1,170	
高齢単身世帯数	7,925	12,189	19,263	28,418	29,693	34,912	・「高齢単身世帯」とは、65歳以上の一人一人のみの一般世帯をいう。
うち75歳以上	3,119	4,737	8,616	14,600	16,200	19,860	
うち85歳以上	457	858	1,793	3,262	4,156	6,572	
母子世帯数	2,544	2,707	3,298	2,815	2,997	…	・「母子(父子)世帯」とは、未婚、死別、離別の女親(男親)と、未婚の20歳未満の子供のみの一般世帯をいう。
父子世帯数	474	460	434	345	300	…	
生涯未婚率							
男性	8.4%	13.8%	15.8%	16.1%	22.5%	23.4%	・45～49歳と50～54歳未婚率の平均値(50歳時の未婚率)
女性	6.4%	8.3%	9.5%	10.2%	17.9%	17.0%	
合計特殊出生率	1.24	1.13	1.12	1.02	1.15	1.24	・注(2)を参照
労働力率							
男性	81.2%	81.5%	79.3%	76.6%	78.0%	…	・15歳以上人口(労働力状態不詳を除く)に占める労働力人口の割合
女性	46.9%	48.4%	48.0%	44.5%	52.2%	…	
産業分類別従事者数							
第1次産業	1,976	1,767	1,535	1,366	1,180	…	
第2次産業	84,665	79,956	69,763	46,966	43,009	…	
第3次産業	227,975	242,411	244,553	216,316	222,650	…	
練馬区常住者の通勤通学先							
練馬区内で通勤通学	138,066	138,597	138,644	115,214	98,499	…	・15歳以上の者に限る。
練馬区外へ通勤通学	238,413	240,169	228,261	192,384	200,388	…	
うち他区へ	197,701	196,004	185,769	155,549	161,528	…	
うち都内市町村へ	17,376	19,100	18,331	15,967	16,914	…	
うち都外へ	23,336	25,065	24,161	20,868	21,946	…	
練馬区に通勤通学する者の常住地							
練馬区内で通勤通学	138,066	138,597	138,644	115,214	98,499	…	・15歳以上の者に限る。
練馬区外から通勤通学	86,464	88,633	83,706	81,332	74,593	…	
うち他区から	29,472	28,335	26,546	25,405	22,458	…	
うち都内市町村から	18,810	18,916	17,937	18,040	17,418	…	
うち都外から	38,182	41,382	39,223	37,887	34,717	…	
練馬区常住者の転入状況							
継続常住者	446,671	…	489,961	…	435,197	…	・5年前の常住地と現住地の対比による。
うち現住所	385,868	…	375,924	…	382,692	…	
うち区内転居	60,803	…	114,037	…	52,505	…	・5歳以上の者に限る。
練馬区外から転入	137,892	…	135,224	…	89,875	…	・「うち都外から」には国外からの転入者を含む。
うち他区から	52,038	…	44,277	…	28,862	…	
うち都内市町村から	12,487	…	15,485	…	9,536	…	
うち都外から	73,367	…	75,462	…	51,477	…	
練馬区常住者の転出状況							
継続常住者	446,671	…	489,961	…	435,197	…	・5年前の常住地と現住地の対比による。
うち現住所	385,868	…	375,924	…	382,692	…	
うち区内転居	60,803	…	114,037	…	52,505	…	・5歳以上の者に限る。
練馬区外へ転出	124,091	…	121,833	…	93,492	…	
うち他区へ	27,872	…	35,592	…	26,200	…	
うち都内市町村へ	16,827	…	17,578	…	14,157	…	
うち都外へ	79,392	…	68,663	…	53,135	…	

注：(1)「1世帯当たり人員」は、一般世帯(昭和55年までは普通世帯)における値である。

(2)「合計特殊出生率」は、過去の人口動態統計の集計結果の「母の年齢階級別出生児数」と年齢階級別の住民基本台帳人口を基に、練馬区総務部総務課統計係が算出したものである。

図表28 特別区勢（国勢調査等による集計結果）【1/2】

	人口				世帯							
	年齢三区分比率			外国人	1世帯当 たり人員	家族類型別				高齢夫婦 世帯数	うち75歳 以上のみ	うち85歳 以上のみ
	0~14歳	15~64歳	65歳~			核家族 世帯	核家族 以外世帯	非親族を 含む世帯	単独世帯			
%	%	%	%	%	%	%	%	%				
特別区部	11.0	67.0	22.0	318,457	1.91	44.80	3.38	1.18	50.64	344,596	112,362	11,834
千代田区	11.8	70.0	18.2	2,091	1.75	37.91	2.39	1.16	58.53	1,777	552	66
中央区	11.9	①72.0	16.1	4,691	1.77	41.94	2.26	1.06	54.74	3,930	1,212	127
港区	③12.4	70.1	17.6	17,118	1.85	43.10	2.69	②2.90	51.31	7,211	2,296	283
新宿区	8.3	③71.6	20.1	①30,506	1.61	31.56	2.38	1.16	①64.91	10,408	3,531	494
文京区	11.1	69.1	19.8	6,634	1.79	39.32	2.69	0.67	57.31	7,062	2,386	282
台東区	9.0	67.2	23.8	13,795	1.77	38.82	3.43	1.38	56.37	6,660	2,258	262
墨田区	10.5	66.6	22.9	8,624	1.94	45.45	4.22	2.19	48.13	9,375	3,021	274
江東区	②12.6	66.2	21.2	21,373	2.03	52.17	3.18	0.85	43.80	19,150	5,339	412
品川区	10.8	68.4	20.9	9,259	1.81	40.99	2.96	1.09	54.95	13,230	4,165	477
目黒区	10.4	69.6	20.0	6,919	1.88	42.99	3.70	③2.24	51.07	9,423	3,141	440
大田区	10.9	66.7	22.5	15,271	1.92	44.51	3.53	0.94	51.02	26,937	8,399	③963
世田谷区	11.3	67.1	21.6	16,217	1.92	46.98	2.50	0.57	49.95	①37,698	①12,547	①1,428
渋谷区	9.1	70.2	20.7	7,110	1.64	32.81	2.60	1.55	③63.03	6,824	2,284	237
中野区	8.3	70.3	21.3	10,305	1.66	33.91	2.66	1.51	61.93	11,063	3,791	470
杉並区	9.9	67.4	22.6	9,847	1.79	40.21	2.64	0.81	56.34	20,955	7,132	888
豊島区	8.3	②71.7	20.0	③22,279	1.64	33.24	2.41	0.90	②63.46	9,135	3,093	389
北区	10.0	64.3	①25.8	15,152	1.89	44.75	3.89	0.66	50.70	14,199	4,882	538
荒川区	11.2	65.5	23.3	14,576	2.05	47.59	②4.98	①2.97	44.47	7,382	2,343	230
板橋区	10.8	65.8	23.4	15,295	1.90	44.32	3.28	1.05	51.36	21,790	7,003	707
練馬区	⑤12.0	⑧65.9	⑩22.1	⑭12,696	④2.11	②53.79	⑧3.64	⑨1.18	⑩41.39	②31,153	②11,044	②1,170
足立区	12.0	63.0	②25.0	21,563	③2.13	52.37	③4.73	1.54	41.37	③27,875	③8,899	646
葛飾区	11.8	63.6	③24.6	13,139	②2.17	①54.48	①5.14	1.02	39.36	17,758	5,977	510
江戸川区	①13.4	65.9	20.6	②23,997	①2.19	③53.71	4.63	0.99	40.66	23,601	7,067	541

注：(1)「1世帯当たり人員」は、一般世帯における値である。
 (2)○の数字は、23区中の順位である。(上位3区と練馬区の順位のみ表示した)

図表29 特別区の人口（国勢調査）【1/2】

	大正9年	大正14年	昭和5年	昭和10年	昭和15年	昭和22年	昭和25年	昭和30年	昭和35年	昭和40年
全都区	55,963,053	59,736,822	64,450,005	69,254,148	73,114,308	78,627,000	84,114,574	90,076,594	94,301,623	99,209,137
順位	3,701,408	4,487,331	5,410,485	6,371,827	7,356,941	5,000,777	6,277,500	8,037,084	9,683,802	10,869,244
1	3,358,530	4,109,640	4,987,030	5,896,008	6,778,971	4,177,548	5,385,071	6,969,104	8,310,027	8,893,094
2	台439,634	台404,728	台415,647	墨464,561	大531,679	世356,170	世408,226	大568,498	大706,219	大755,535
3	港330,004	新339,360	墨390,493	台464,166	墨479,468	大313,746	大400,406	世523,630	世653,210	世742,880
4	墨320,360	墨327,293	新357,655	東385,222	台460,170	杉284,493	杉326,610	杉405,665	杉487,210	杉536,792
5	新290,398	港320,541	港322,487	新375,848	品419,508	足233,217	品288,545	品373,341	品427,859	足514,717
6	文282,080	文287,699	東319,913	品366,194	東419,154	品219,500	足268,304	北351,532	北418,603	板477,007
7	東259,827	東273,496	品311,652	大348,872	新394,480	北202,585	北267,209	新348,675	新413,690	北452,064
8	東254,462	品232,477	文288,242	港337,333	新351,321	台195,943	台262,159	足332,181	板412,605	葛446,059
9	千217,629	東225,379	東280,359	東325,912	東350,960	葛181,966	新246,373	板311,225	足408,768	練434,721
10	渋谷137,207	東218,228	大245,409	文288,350	港336,312	板177,282	葛244,832	台310,058	葛376,724	品423,015
11	荒121,301	豊198,211	東239,546	北285,852	豊312,218	墨173,601	墨236,242	墨305,590	豊363,193	新413,910
12	品121,092	渋谷190,774	豊236,690	豊268,050	文300,801	戸173,422	板223,003	豊300,557	野351,360	戸405,139
13	豊109,892	千184,920	北227,670	東261,205	世281,804	目170,022	豊217,141	葛294,133	東351,053	野376,697
14	北95,069	北167,471	渋谷213,533	渋谷234,850	渋谷256,706	野168,215	港216,120	野289,165	墨331,843	豊373,126
15	大78,507	大151,975	千188,699	世210,701	杉245,701	港164,966	野213,461	東277,971	台318,889	東359,672
16	足63,266	足93,691	世149,323	千197,284	東244,046	新153,924	戸208,861	戸254,771	戸316,593	墨317,856
17	世39,952	世87,965	足135,145	杉190,439	足231,251	豊149,597	目204,382	港254,592	練305,628	目298,774
18	戸39,617	野85,186	杉134,693	野178,161	野213,851	文144,858	東201,248	目253,941	目293,763	台286,324
19	野29,161	杉66,087	野133,930	足174,616	目198,795	荒144,837	文190,746	荒253,323	荒285,480	渋谷283,730
20	板27,761	戸64,769	目108,208	目152,187	千186,783	東139,179	東182,489	渋谷243,410	渋谷282,687	荒278,412
21	練25,748	目63,019	戸97,259	戸129,574	戸177,665	渋谷131,682	渋谷181,244	文236,971	港267,024	文253,449
22	葛25,141	葛44,910	葛76,753	葛105,665	葛153,016	練111,792	東161,925	練185,814	文259,383	港241,539
23	目22,287	板42,235	板58,941	板78,229	板120,871	東96,870	練125,197	東171,316	東161,299	東128,017
24	杉18,135	練39,226	練54,783	練72,737	練112,411	千89,681	千110,348	千122,745	千116,944	千93,047

資料：総務省統計局「昭和55年10月1日の境域による各回国勢調査時の市区町村別人口」、「国勢調査報告」

図表28 特別区勢（国勢調査等による集計結果）【2/2】

	世帯					婚姻、出生など						
	高齢単身 世帯数	うち		母子 世帯数	父子 世帯数	婚姻	離婚	生涯未婚率		出生	死亡	合計特殊 出生率
		75歳以上	うち 85歳以上					男性	女性			
								%	%			
特別区部	539,014	281,432	86,751	38,137	4,506	66,558	16,918	26.6	21.4	78,423	75,626	1.22
千代田区	3,166	1,758	622	229	28	542	94	20.6	21.1	604	383	1.30
中央区	7,090	3,620	1,187	855	110	1,559	314	20.7 ③	28.4	1,790	855 ②	1.43
港区	12,869	6,906	2,467	954	91	2,309	546	19.7	24.1	2,854	1,585 ①	1.44
新宿区	21,821	11,200	3,602	1,306	146	2,743	629 ①	34.9 ②	29.3	2,329	2,520	1.02
文京区	12,574	6,785	2,298	641	69	1,626	303	22.1	24.6	1,918	1,544	1.17
台東区	14,539	7,367	2,386	762	92	1,621	376	31.7	25.3	1,540	1,956	1.23
墨田区	15,257	7,509	2,166	1,118	124	2,229	595	28.6	23.3	2,247	2,417	1.30
江東区	27,600	13,712	3,717	2,544	320	3,235	955	22.9	19.1	4,562	3,893	1.42
品川区	22,548	11,488	3,467	1,457	146	3,126	662	26.9	24.7	3,462	2,971	1.23
目黒区	14,537	8,230	3,132	883	105	2,619	490	23.2	25.3	2,583	1,915	1.04
大田区	① 41,901	③ 21,154	③ 6,557	2,812	③ 403	② 5,051	1,310	27.8	20.0	5,803 ③	6,295	1.21
世田谷区	③ 39,999	① 23,573	① 8,995	2,592	287	① 6,604	① 1,431	21.7	20.5 ①	7,969 ②	6,393	1.12
渋谷区	15,218	7,527	2,158	682	66	2,198	432	28.8 ①	30.6	1,993	1,545	1.08
中野区	21,915	11,507	3,715	1,019	120	2,779	565 ②	32.9	26.5	2,510	2,651	1.03
杉並区	② 40,797	② 21,759	6,522	1,508	179	③ 4,359	833	25.8	23.5	4,514	4,311	1.04
豊島区	19,403	10,197	3,554	866	86	2,247	482	31.7	24.8	2,055	2,314	1.00
北区	25,885	13,595	4,039	1,416	163	2,321	547 ③	31.8	22.1	2,683	3,442	1.22
荒川区	12,576	6,293	1,793	973	144	1,363	400	31.1	21.6	1,799	2,052	1.33
板橋区	36,516	18,368	5,139	2,502	284	3,587	1,024	28.9	20.3	4,400	4,813	1.19
練馬区	⑥ 34,912	⑤ 19,860	② 6,572	③ 2,997	⑤ 300	④ 4,142	⑤ 1,213	⑩ 23.4	⑫ 17.0	② 6,076	④ 5,501	⑩ 1.24
足立区	39,952	20,172	5,082 ①	4,380 ①	525	3,823	② 1,404	29.3	18.1	5,326 ①	6,524	1.41
葛飾区	26,601	13,617	3,887	2,215	296	2,472	926	28.4	18.4	3,575	4,311	1.38
江戸川区	31,338	15,235	3,694 ②	3,426 ②	422	4,003	③ 1,387	25.4	15.6 ③	5,831	5,435 ③	1.42
資料	平成27年国勢調査			平成22年国勢調査		人口動態統計調査		平成22年国勢調査		人口動態統計調査		

注：人口動態統計調査の値は、合計特殊出生率（練馬区総務部総務課統計係が出生数等を基に算出）は平成27年、それ以外は平成26年のものである。

図表29 特別区の人口（国勢調査）【2/2】

	昭和45年	昭和50年	昭和55年	昭和60年	平成2年	平成7年	平成12年	平成17年	平成22年	平成27年
全	104,665,171	111,939,643	117,060,396	121,048,923	123,611,167	125,570,246	126,925,843	127,767,994	128,057,352	127,110,047
都	11,408,071	11,673,554	11,618,281	11,829,363	11,855,563	11,773,605	12,064,101	12,576,601	13,159,388	13,513,734
区	8,840,942	8,646,520	8,351,893	8,354,615	8,163,573	7,967,614	8,134,688	8,489,653	8,945,695	9,272,565
順位										
1	世 787,338	世 805,787	世 797,292	世 811,304	世 789,051	世 781,104	世 814,901	世 841,165	世 877,138	世 903,346
2	大 734,990	大 691,337	大 661,147	大 662,814	大 647,914	大 636,276	練 658,132	練 692,339	練 716,124	練 721,722
3	足 571,791	足 609,025	足 619,961	足 622,640	足 631,163	練 635,746	大 650,331	大 665,674	大 693,373	大 717,082
4	杉 553,016	杉 560,716	練 564,156	練 587,887	練 618,663	足 622,270	戸 619,953	戸 653,944	足 683,426	戸 681,298
5	練 527,931	練 559,665	杉 542,449	杉 539,842	戸 565,939	戸 589,414	足 617,123	足 624,807	戸 678,967	足 670,122
6	板 471,777	板 498,286	板 498,266	戸 514,812	杉 529,485	杉 515,803	杉 522,103	杉 528,587	杉 549,569	杉 563,997
7	葛 462,954	戸 473,656	戸 495,231	板 505,556	板 518,943	板 511,415	板 513,575	板 523,083	板 535,824	板 561,916
8	戸 446,758	葛 442,328	葛 420,187	葛 419,017	葛 424,801	葛 424,478	葛 421,519	葛 424,878	東 460,819	東 498,109
9	北 431,219	北 419,996	北 387,458	東 388,927	東 385,159	東 365,604	東 376,840	東 420,845	葛 442,586	葛 442,913
10	品 397,302	野 373,075	東 362,270	北 367,579	北 354,647	北 334,127	北 326,764	品 346,357	品 365,302	品 386,855
11	新 390,657	新 367,218	品 346,247	品 357,732	品 344,611	品 325,377	品 324,608	北 330,412	北 335,544	北 341,076
12	野 378,723	品 366,058	野 345,733	野 335,936	野 319,687	野 306,581	野 309,526	野 310,627	新 326,309	新 333,560
13	東 355,835	東 355,382	新 343,928	新 332,722	新 296,790	新 279,048	新 286,726	新 305,716	野 314,750	野 328,215
14	豊 354,427	豊 321,078	豊 288,626	豊 278,455	豊 261,870	豊 246,252	目 250,140	目 264,064	豊 284,678	豊 291,167
15	目 295,612	目 285,003	目 273,791	目 269,166	目 251,222	目 243,100	豊 249,017	豊 250,585	目 268,330	目 277,622
16	墨 281,237	渋 263,815	渋 247,035	渋 242,442	墨 222,944	墨 215,681	墨 215,979	墨 231,173	墨 247,606	墨 256,274
17	渋 274,491	墨 250,714	墨 232,796	墨 229,986	渋 205,625	渋 188,472	渋 196,682	渋 203,334	文 206,626	港 243,283
18	荒 247,013	荒 217,905	文 202,351	文 195,876	荒 184,809	荒 176,886	荒 180,468	荒 191,207	港 205,131	渋 224,533
19	台 240,769	文 216,250	港 201,257	港 194,591	文 181,269	文 172,474	文 176,017	文 189,632	渋 204,492	文 219,724
20	文 234,326	港 209,492	荒 198,126	荒 190,061	台 162,969	台 153,918	港 159,398	港 185,861	荒 203,296	荒 212,264
21	港 223,978	台 207,649	台 186,048	台 176,804	港 158,499	港 144,885	台 156,325	台 165,186	台 175,928	台 198,073
22	央 103,850	央 90,097	央 82,700	央 79,973	央 68,041	央 63,923	央 72,526	央 98,399	央 122,762	央 141,183
23	千 74,185	千 61,656	千 54,801	千 50,493	千 39,472	千 34,780	千 36,035	千 41,778	千 47,115	千 58,406

注：(1) 大正9年～昭和15年の人口は、各調査時点の人口を現在の23区の境域に組み替えた推計値である。

(2) □囲みは全国、東京都、特別区を、○囲みは各区名を表している(央(は中野区、は中野区、は江東区、は江戸川区))

図表30 特別区勢（平成22年国勢調査における産業大分類別従事者（常住者）等）

	第1次産業	A 農業、 林業	うち 農業	B 漁業	第2次産業	C 鉱業等	D 建設業	E 製造業	第3次産業	F 電気・ 水道業等	G 情報 通信業	H 運輸業、 郵便業	I 卸売業、 小売業
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%
特別区部	0.2	0.2	0.1	0.0	14.0	0.0	5.0	9.1	70.6	0.3	7.4	4.8	15.3
千代田区	0.0	0.0	0.0	0.0	6.5 ③	0.0	1.7	4.8	③ 77.3	0.1	7.0	2.0	14.4
中央区	0.0	0.0	0.0	① 0.0	9.0	0.0	2.2	6.7	76.1	0.4 ②	9.5	3.4 ③	17.2
港区	0.0	0.0	0.0	② 0.0	7.7	0.0	2.0	5.7	69.9	0.3	7.9	3.0	12.1
新宿区	0.1	0.1	0.1	0.0	8.8	0.0	3.0	5.8	72.0	0.3	7.9	2.4	12.1
文京区	0.1	0.1	0.1	0.0	11.3	0.0	2.8	8.4	75.1	0.2	8.2	2.2	13.7
台東区	0.0	0.0	0.0	0.0	14.8	0.0	3.8	11.0	68.2	0.2	5.9	2.8 ②	19.8
墨田区	0.1	0.1	0.1	0.0	① 27.7	0.0 ②	7.3 ①	20.4 ①	96.8 ①	0.5 ③	9.4	6.6 ①	25.2
江東区	0.1	0.1	0.0	0.0	14.8	0.0	5.0	9.7	74.5	0.4 ②	8.4 ②	7.2	16.7
品川区	0.1	0.1	0.1	0.0	13.3	0.0	4.1	9.2	70.7	0.3	8.7	5.5	14.9
目黒区	0.1	0.1	0.1	0.0	9.6	0.0	3.0	6.6	71.4 ②	0.4	8.4	2.6	14.1
大田区	0.1	0.1	0.1	0.0	18.1	0.0	5.4 ②	12.7	70.1	0.3	7.4	6.9	16.0
世田谷区	② 0.3	② 0.3	② 0.3	0.0	10.2 ①	0.0	3.8	6.3	71.0	0.3	8.6	3.0	14.3
渋谷区	0.1	0.1	0.0	0.0	8.2 ②	0.0	2.9	5.2	73.5	0.3	9.2	2.4	13.3
中野区	0.1	0.1	0.1	0.0	10.4	0.0	4.4	6.0	72.9	0.3	8.9	3.3	14.2
杉並区	0.2	0.2	0.2	0.0	10.8	0.0	4.2	6.6 ②	78.0	0.4 ①	9.9	3.0	15.1
豊島区	0.1	0.1	0.1	0.0	10.9	0.0	4.0	6.9	65.4	0.3	7.3	2.7	13.0
北区	0.1	0.1	0.1	0.0	15.0	0.0	5.2	9.7	72.7	0.3	6.5	5.1	15.8
荒川区	0.1	0.1	0.1	0.0	17.5	0.0	5.4	12.1	67.9 ③	0.4	5.9	4.4	16.6
板橋区	0.1	0.1	0.1	0.0	16.3	0.0	6.0	10.3	70.8	0.3	6.6	5.6	15.5
練馬区	① 0.4	① 0.4	① 0.4	② 0.0	⑪ 13.4	⑫ 0.0	④ 6.1	⑬ 7.3	⑰ 69.3	⑧ 0.3	⑬ 7.6	⑪ 4.0	⑰ 14.2
足立区	0.2	0.2	0.2	0.0	② 19.0	0.0 ①	7.5	11.4	65.8	0.3	4.6 ③	7.2	16.2
葛飾区	0.2	0.2	0.2	0.0	③ 18.4	0.0	6.1 ③	12.3	66.8	0.3	5.1	5.9	16.5
江戸川区	③ 0.2	③ 0.2	③ 0.2	③ 0.0	17.7	0.0 ③	7.2	10.5	68.2	0.3	6.1 ①	7.3	16.4
	J 金融業、 保険業	K 不動産、 物品賃貸	L 学術研究 等	M 宿泊飲食 サービス	N 生活関連 娯楽業	O 教育、 学習支援	P 医療、 福祉	Q 複合 サービス	R サービス 業	S 公務	T 分類不能	労働力率	
	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	%	男性	女性
特別区部	3.8	3.7	5.5	6.3	3.5	3.8	7.2	0.2	6.5	2.4	15.2	78.5	54.8
千代田区	③ 5.4	① 7.2	7.2	6.8	2.3	3.8	8.4	① 1.0	4.6	① 7.2	16.1	② 83.7	58.4
中央区	① 5.8	3.8	③ 8.4	③ 8.8	2.7	2.6	6.1	0.1	4.8	2.6	14.8	① 85.9	① 63.8
港区	② 5.4	③ 5.4	② 8.7	6.4	3.2	3.5	6.1	0.2	5.2	2.4	② 22.4	③ 82.9	58.2
新宿区	4.0	4.6	6.8	7.7	3.3	4.5	8.1	0.2	6.3 ③	3.7	③ 19.2	77.5	55.8
文京区	4.8	4.2	8.0	6.0	2.6 ①	6.7 ①	9.7 ①	0.1	5.7	3.0	13.6	78.0	57.4
台東区	2.5	3.7	4.4	② 9.4	3.4	3.0	5.2	0.1	6.2	1.6	16.9	81.3	② 60.7
墨田区	4.3	4.4	5.7 ①	10.4 ①	4.9 ①	3.7 ②	9.2 ②	0.2 ①	9.8 ①	2.7	19.0	81.1	58.3
江東区	4.6	3.0	5.2	7.1	3.2	3.0	6.0	0.2 ②	7.6 ②	2.0	10.7	80.9	56.0
品川区	3.6	3.6	5.5	6.6	3.5	3.3	6.6	0.2	6.2	2.0	15.8	80.5	58.2
目黒区	4.0	4.6	7.9	5.4	4.0	4.3	6.8	0.2	5.1	3.5	18.9	77.9	55.3
大田区	3.2	3.5	4.5	6.2	3.4	3.3	7.0	0.2	6.5	1.7	11.6	78.9	54.5
世田谷区	4.4	4.1	7.5	5.0	3.8 ③	4.9 ③	7.0	0.2	5.5	2.4	18.5	78.5	55.1
渋谷区	4.4 ②	6.0 ①	9.1 ①	6.1 ②	4.4 ②	4.3 ②	6.0 ②	0.2	5.6	2.1	18.3	81.4 ③	59.0
中野区	4.2	4.2	6.4	6.9 ③	4.1 ③	4.2 ③	7.1 ③	0.2	6.5	2.5	16.6	77.7	54.5
杉並区	5.0	4.6	7.6	5.9	3.9 ②	5.4 ②	8.1 ②	0.2	6.4	2.5	11.1	76.0	53.5
豊島区	3.5	3.9	5.4	6.6	3.4	4.1	6.8	0.1	6.1	1.9 ①	23.6	79.5	58.3
北区	3.3	3.3	4.8	7.0	3.6	3.9	7.8	0.2	7.4 ②	3.8	12.3	75.0	51.2
荒川区	3.1	2.8	3.9	7.5	3.6	3.1	7.5	0.2	6.8	2.1	14.6	79.2	56.4
板橋区	3.4	3.3	4.4	6.1	3.6	3.8 ③	8.6 ③	0.2	7.0	2.3	12.8	77.1	53.8
練馬区	⑪ 4.1	⑫ 3.3	⑬ 5.5	⑭ 4.9	⑮ 3.4	⑯ 4.8	⑰ 8.0	⑱ 0.2	⑲ 6.0	⑳ 3.0	㉑ 16.9	⑳ 78.0	㉒ 52.2
足立区	2.6	2.7	3.0	6.3	3.4	2.7	7.5 ③	0.3	7.1	2.0	15.0	76.1	51.0
葛飾区	3.0	2.8	3.3	6.1	3.4	3.0	7.4 ②	0.3	7.2	2.5	14.6	76.6	52.9
江戸川区	3.5	3.1	3.4	6.0	3.4	2.8	6.2	0.2 ③	7.5 ③	2.0	13.8	79.3	53.1

資料：総務省統計局「平成22年国勢調査報告」

注：(1) 産業大分類(A～S)の区分は、一部略称にて表記(例:F電気・ガス・熱供給・水道業⇒F電気・水道業等)している。(正式な産業分類の区分は247ページを参照)

(2) 「労働力率」は、15歳以上人口(労働力状態不詳を除く)に占める労働力人口の割合である。